

主婦連合会



- 日常生活の中でぶつかる問題、疑問を、政治・行政・事業者に届けて、生活の不便、不安全、不公正を解決していこうと、普通の主婦たちがグループで活動していた。その後、全国的な連携の必要性が高まり1948年(昭和24年)9月に連合会組織である主婦連合会がつけられた。

主婦連合会とコープ（生活協同組合）

市販の「たらこ」には全て**赤色合成着色料、発色剤、化学調味料等**がふんだんに使われているのが常識だった時代



合成添加物いっぱいの物より「たらこ本来の味」と「子どもに安心して食べさせられるたらこが欲しい！」という消費者（コープ組合員）の要望によって生まれたのが「生協のたらこ」





森林保全活動



主婦連セミナー



工場見学



幼児用玩具の安全性調査



主婦会館プラザエフ産直市



海外女性団体との交流



食品リサイクルサロン
四ツ谷カフェ



エネルギーベストミックス学習会

主婦連合会now



- 首都圏以外に支部や会員団体
食、環境など生活に関わるすべての分野で政策提言、消費者相談、機関紙の発行などを通じた情報提供、消費者教育など幅広い活動を展開している。消費者製品については試買調査も行っている。